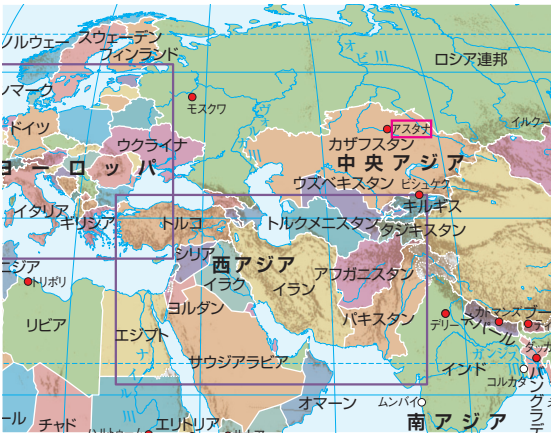
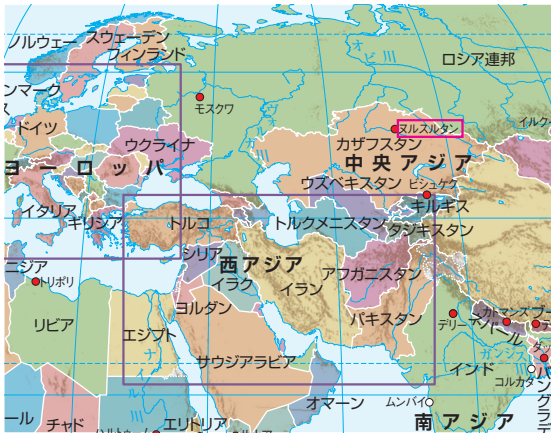
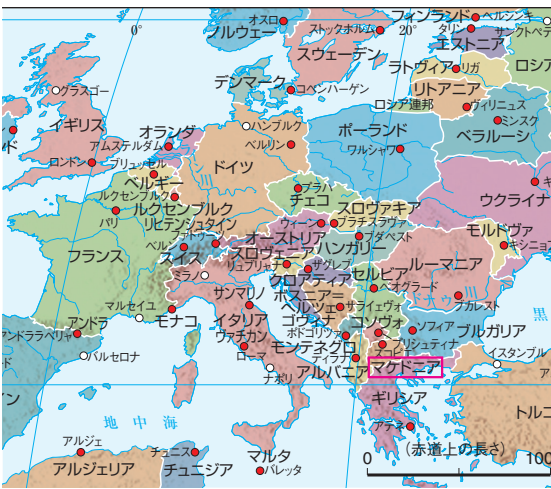
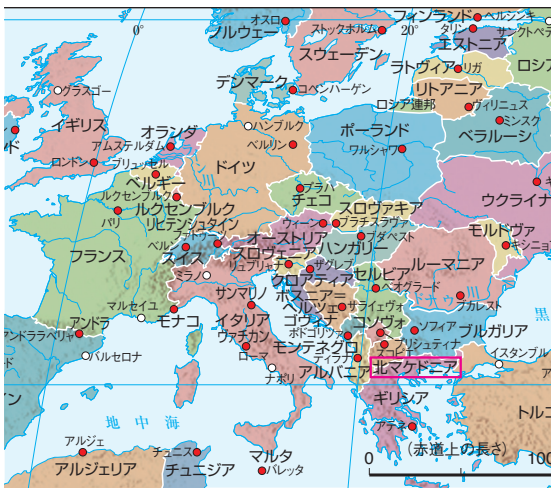


訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
前見返し	地図上		
前見返し	地図下 (中)		
33	9～11	<p><sup>Hittite</sup> ヒッタイトははじめて<u>鉄器</u>を使用し、前 15 世紀には<sup>Mitanni</sup> ミタンニがメソポタミア北部を支配した。</p>	<p><sup>Hittite</sup> ヒッタイトは製鉄技術を発展させて<u>鉄器</u>を<u>実用的に</u> 使用し、前 15 世紀には<sup>Mitanni</sup> ミタンニがメソポタミア北部を支配した。</p>
45	写真 (下) キャプション	<p>ホメロスの<sup>じょじし</sup> <u>叙事詩</u>に題材をとったヘレニズム彫刻の代表作。</p>	<p><u>トロヤ戦争の物語</u>に題材をとったヘレニズム彫刻の代表作。</p>

訂正箇所		原文	訂正文																				
ページ	行																						
105	年表	<table border="1"> <tr> <td>前3世紀～後1世紀</td> <td>ドンソン文化最盛期</td> </tr> <tr> <td>2～3世紀</td> <td>林邑, 扶南の成立</td> </tr> <tr> <td>7世</td> <td>港市国家群</td> </tr> <tr> <td>8～9世紀</td> <td>東南アジア古代国家群</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボロブドゥール寺院</td> </tr> </table>	前3世紀～後1世紀	ドンソン文化最盛期	2～3世紀	林邑, 扶南の成立	7世	港市国家群	8～9世紀	東南アジア古代国家群		ボロブドゥール寺院	<table border="1"> <tr> <td>前3世紀～後1世紀</td> <td>ドンソン文化最盛期</td> </tr> <tr> <td>2～3世紀</td> <td>林邑, 扶南の成立</td> </tr> <tr> <td>7世紀</td> <td>港市国家群</td> </tr> <tr> <td>8～9世紀</td> <td>東南アジア古代国家群</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボロブドゥール寺院</td> </tr> </table>	前3世紀～後1世紀	ドンソン文化最盛期	2～3世紀	林邑, 扶南の成立	7世紀	港市国家群	8～9世紀	東南アジア古代国家群		ボロブドゥール寺院
前3世紀～後1世紀	ドンソン文化最盛期																						
2～3世紀	林邑, 扶南の成立																						
7世	港市国家群																						
8～9世紀	東南アジア古代国家群																						
	ボロブドゥール寺院																						
前3世紀～後1世紀	ドンソン文化最盛期																						
2～3世紀	林邑, 扶南の成立																						
7世紀	港市国家群																						
8～9世紀	東南アジア古代国家群																						
	ボロブドゥール寺院																						
108	地図																						
114	地図																						

訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
127	右段 12～13	彼らは、 <u>イマーム</u> の判断ではなく、	彼らは、 <u>特定の人物</u> の判断ではなく、
189	2～3	その収益は、宋の <u>国家財政の大きな部分を占めた</u> 。	その収益は、宋の <u>歳入の確保に寄与した</u> 。
202	側注①	①朝貢を認められた国家に朝貢船が正式のものであることを証明する <u>勘合符</u> が支給された。 <u>勘合符</u> をもたない船の交易は認められなかった。	①朝貢を認められた国家に朝貢船が正式のものであることを証明する <u>勘合</u> が支給された。 <u>勘合</u> をもたない船の交易は認められなかった。
220	左段 16～18	<b>火器で武装した陸軍</b> 1514年の夏、現在の <u>トルコ共和国の東部のチャルディラーンの地</u> で、オスマン朝とサファヴィー朝の間で大会戦があった。 (→p.218地図)	<b>火器で武装した陸軍</b> 1514年の夏、現在の <u>イラン・トルコ国境東側のチャルディラーンの地</u> で、オスマン朝とサファヴィー朝の間で大会戦があつた。 (→p.218地図)
226	側注⑦	なお、朝貢貿易には、 <u>勘合符</u> が用いられた。	なお、朝貢貿易には、 <u>勘合</u> が用いられた。
281	地図		
288	写真タイトル	新聞スタンド「 <u>戦争の夢</u> 」(1860年ごろの絵画)	新聞スタンド (19世紀末の絵画)

訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
391	コラム 3	<p><b>日米安全保障条約</b> 日本と極東の平和と安全のためとして、米軍の日本駐留と基地使用を認める条約。</p>	<p><b>日米安全保障条約</b> 日本と極東の平和と安全のためとして、米軍の日本駐留と基地使用を認める条約。</p>
431	側注⑩	<u>2015年</u> にインド、パキスタンの2か国が加盟 <u>する</u> ことで合意している。	<u>2017年には</u> インド、パキスタンの2か国が加盟 <u>した</u> 。
447	さくいん	<p>門閥貴族 86 モンロー宣言 276, 313 ヤークーブ=ベク 335 <b>や</b> 「夜警」 236, 261 ヤゲウォ 143</p>	<p>門閥貴族 86 モンロー宣言 276, 313 <b>や</b> ヤークーブ=ベク 335 「夜警」 236, 261 ヤゲウォ 143</p>